

会場のご案内

- 国立オリンピック記念青少年総合センター | 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL:03-3467-7201
● 食事場所: カフェテリアふじ、レストランとき、レストランさくら ● 喫煙はマナーを守り、所定の場所をお願いいたします。



参加要領

- **参加費**..... 一般 3,000円 学生 1,500円 (参加日数にかかわらず一律) ※税込
情報交換会参加日3,500円 (別途) 参加費等につきましては、当日会場で現金にて納入ください。
- **定員**..... 500名
- **参加対象**..... 地域振興に関心のある方、世代間交流・異業種交流に関心のある方、本フォーラムに関心のある方
- **申込方法**..... 下記申込用紙の所定欄に記入し、FAXまたはWEBページの入力フォームよりお申し込みください。
なお、分科会はできるだけご希望に添うようにしますが、会場の都合により主催者が調整する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- **その他**..... 宿泊交通費および昼食代は各自ご負担となります。
- **申込・お問合せ先**..... 列島ふさと再生全国実行委員会 (日本青年団協議会内) 東京都港区虎ノ門3-23-6 秀和虎ノ門三丁目ビル4階
TEL:03-6452-9025 FAX:03-6452-9026 E-mail:retto_saisei@dan.or.jp

参加申込書

▼記入したものをFAX (03-6452-9026)、または列島ふさと再生全国フォーラムWEBページの入力フォームでお申込みください。

お名前	職業・所属 (部署、学校名、学部)	年齢
住所 〒	電話番号	歳
	メールアドレス	

▶ご記入いただきました個人情報は、当フォーラム運営管理のみに利用させていただきます。

参加日 2/18(土) ・ 2/19(日) 両日の場合は両方○で囲んでください。	情報交換会 (2/18(土) 3,500円) 参加 ・ 不参加
希望する分科会 第1希望	第2希望
今回参加される理由を教えてください。	どちらでこのフォーラム開催を知りましたか。○で囲んでください。 WEB・HP、友人知人、SNS、その他()

出あって、集って、つながって 日本の元気はふるさとから 列島ふさと再生全国フォーラム2017

見えてきた都市と農山漁村の連携と対流

2017.2/18(土)～19(日)

国立オリンピック記念青少年総合センター

まちづくりに関心のある人たち、集合!

世代間交流、異業種交流に関心のある人たち、集合!



山口県萩市大島

1960年代から顕著に見られた人口の流動化、都市化現象の進展、とりわけ東京一極集中の現象により、日本列島は過疎過密という大きなゆがみを招くことになりました。このような偏った日本列島のあり方を改善するため、私たち一人一人の暮らしの根っこにある「ふるさと」の再生に向かうには、都市と農山漁村の連携による取り組みが求められています。

このフォーラムを通じて、さまざまな人たちが現状の課題について語ることによって、地域と人、都市と農山漁村を結ぶ活動の輪を広げていきましょう。

主催 | 列島ふさと再生全国実行委員会、日本青年団協議会

後援 | 外務省、農林水産省、環境省、全国都道府県議会議長会、全国知事会、全国市議会議長会、全国市長会、全国町村議会議長会、全国町村会、全国山村振興連盟、(一財)都市農山漁村交流活性化機構、(一財)日本青年館、(一社)共同通信社、オーライ・ニッポン会議、(株)時事通信社、(公社)日本青年会議所、全国地域婦人団体連絡協議会、全国地方新聞社連合会、日本経済新聞社、読売新聞社

出会う、集って、つながって 日本の元気はふるさとから 列島ふるさと再生全国フォーラム2017

—— 見えてきた都市と農山漁村の連携と対流 ——

2/18^土

- 12:00 ●受 付
13:00 ●開 会
13:30 ●基調講演
結城 登美雄氏 | 民俗研究家

昭和20年 旧満洲(中国東北部)生まれ。山形大学卒業後、広告デザイン業界に入る。15年にわたり東北の農山漁村をフィールドワークしながら、住民を主体にした地域づくりの手法「地元学」を提唱。出版界、演劇界、学者、研究者、建築家などとネットワークしながら、宮城県内及び東北各地で地域おこしの活動を行っている。宮城県宮崎町(現加美町)の「食の文化祭」や、北上町(現石巻市)での「宮城食育の里づくり」ではアドバイザーを務め、旧鳴子町「鳴子の米プロジェクト」の総合プロデューサーを務めた。「増刊現代農業」「グラフィケーション」など、雑誌や新聞を中心に農と地域づくりについて多数執筆中。

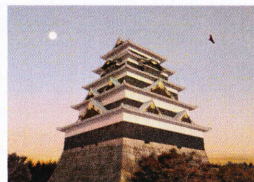
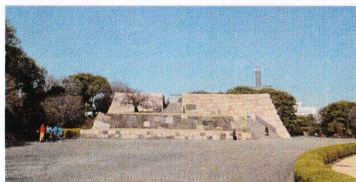


14:30 ●政策提言シンポジウム「私が考えるふるさと再生」

池上 洋通 自治体問題研究所 理事
齋藤 緑 宮城県山元町臨時災害FM放送局りんごラジオ パーソナリティ
嘉田 良平 四條畷学園大学教授・総合地球環境学研究所 名誉教授
山崎 善也 全国水源の里連絡協議会会長・京都府綾部市長

18:00 ●特別プログラム 一般公開・講演と展示会「東京の変遷と江戸城再建」

太田 資暁 江戸城の築城主・太田道灌公の第18代子孫。(認定NPO)江戸城天守を再建する会会長
土屋 繁 (認定NPO)江戸城天守を再建する会理事、元毎日新聞記者



復元 広瀬大学大学院教授 三浦正幸
制作 鶴工ス
提供 NPO法人 江戸城天守を再建する会

19:30 ●情報交流会

2/19^日

- 9:00 ●受 付
9:30 ●分 科 会
I～VIIの7グループのいずれかにご自由に参加いただけます。(各グループ30名程度)
話題提供を元にみなさんで意見交換をする場をぜひ楽しんでください。

- 12:30～ ●休 憩
13:30 ●全 体 会
各分科会登壇者をパネラーとしたシンポジウム形式による全体会
15:00 ●閉 会

列島ふるさと再生全国実行委員

照屋 仁士 実行委員長(日本青年団協議会 会長)
新田 均 副委員長((NPO)地球緑化センター 理事長)
朝子 直樹 (全国水源の里連絡協議会)
仲田 成徳 ((公財)日本離島センター 事務局長)
池上 洋通 (自治体問題研究所 理事)
鹿住 貴之 ((認定NPO)JUON(樹恩)NETWORK 事務局長)
小川 俊一 (日本都市青年会議 監事)
鳥澤 文彦 (日本青年団協議会 事務局長)

特別プログラムについて

★江戸城天守とは...

寛永15年(1638)に築城された江戸城天守は、法隆寺五重塔よりも遙かに高く、東大寺大仏殿と並んで、世界最大の木造建築だった。
強度、耐久性などに優れた建材といわれるヒノキ(檜)を用い、木組みだけで柱、梁、桁を接合する、木造建築技術で建てられていた。
しかし、明暦3年(1657)の江戸大火(振袖火事)で、「寛永度」天守は焼失し、以後、天守は再建されなかった。

分科会



暮らす、学ぶ、つなぐ

私たちの地域での生き方ともつながる7つのキーワードを設け、若者や多世代など地域で取り組まれている事例を話題にグループごとの語り合いを深めていきます。



分科会 I 「地域で暮らす」

過疎化、高齢化のすすむ地域にありながら様々な活動にチャレンジし、自己実現のため活躍する若者たちの体験や、地域を元気にする若者を支える活動の実例を通じてふるさと再生の可能性を考えます。

- コーディネーター……福永 晃仁 (日本青年団協議会 副会長)
●登壇者……石田 敏之、吉岡 優、花房 功基(岡山県たけおこしプロジェクト)
板井 泉一 (おおいた青年交流祭 会長)

分科会 II 「地域で育てる」

離島は、過疎化・高齢化がどの地域より進んでいるものの、独自の自然・歴史・文化に育まれてきた豊かな教育環境を有しています。本土に比べて地理的ハンディはあるものの、離島のそういった地域資源に着目し、離島留学・域学連携といった取り組みを通じた地域の活性化、定住促進など、全国の地域が抱える課題解決の糸口を探ります。

- コーディネーター……仲田 成徳 ((公財)日本離島センター 事務局長)
●登壇者……本保 建男 (新潟県粟島浦村長)
前田 剛 (長崎県対馬市 職員)

分科会 III 「地域を活かす」

国土の65%に広がる森林、川と湖、そして四方の海、世界にまれな自然を持つ日本。どこにも地域の共同体があり、すぐれた伝統文化と産業を生み出してきました。いま全国で、地域の持つ力を発見・確認して、特産品や観光資源につなげ、都市住民と結んで地域をおこす。明日への営みが始まっています。

- コーディネーター……池上 洋通 (自治体問題研究所 理事)
●登壇者……丸山 美子 ((一社)湯久保宿 代表理事)
清村 賢一 (沖縄県多良間村 職員)

分科会 IV 「地域に学ぶ」

大学やNPO等が農山漁村地域や自治体と連携し、実習・インターンシップ等の教育的なプログラムを実施する例が増えています。学生や青年が地域との交流を深める中で、地域の活性化につながるとともに、若者にとっても大きな学びとなる活動について考えます。

- コーディネーター……鹿住 貴之 ((認定NPO)JUON(樹恩)NETWORK 事務局長)
●登壇者……杉野 卓也 (東京農業大学多摩川源流大学 学術研究員)
伊藤 淳司 ((NPO)ETIC.ローカルイノベーション事業部マネージャー)

分科会 V 「地域をつなぐ」

近年、ふるさとのシンボルお城をテーマに、元気なお城活動が見られるようになりました。天守閣の再建、古い街並みの復元など、多様な取り組みが実践されています。今回は、このようなお城を中心に歴史と文化の城下町づくりを考え、幅広く意見交換をします。

- コーディネーター……香山 篤美 ((NPO)夢空間松代のまちと心を育てる会 理事長)
●登壇者……土屋 繁 (認定NPO)江戸城天守を再建する会 理事
山本 篤志 (小田原城・大外郭の会 共同代表)
香山 篤美 ((NPO)夢空間松代のまちと心を育てる会 理事長)

分科会 VI 「地域を守る」

長年にわたり人口減少、担い手不足の続く多くの地域では、自然環境、生産、伝統文化をはじめとした「人々の営み」の維持が難しくなっています。そんな中、「地場にあるもの」に着目し、地域資源の保全と活用を両立させていく取り組みについて考えます。

- コーディネーター……小川 俊一 (日本都市青年会議 監事)
●登壇者……古田 睦美 (長野大学環境ツーリズム学部 教授)
山本 圭一 (株NTTドコモ東北復興新生支援室 担当課長)

分科会 VII 「地域を支える」

農山漁村と都市部の地域(あるいは、農山漁村の近隣の地域)・自治体・NPO団体などの連携や協力により、農林漁業、エネルギー、教育、福祉、文化などを支える事例を通して、地域を支えることについて考えます。

- コーディネーター……嘉田 良平 (四條畷学園大学教授・総合地球環境学研究所名誉教授)
●登壇者……大田 昌博 (水資源保全協議会代表理事、山梨県道志村 前村長)
河崎 典夫 (水源の里を守ろう 木曽川流域みんなの会共同代表)
横山 貴敏 (ボノ(株) 代表取締役)

※やむを得ない事情により登壇者は変更する場合があります。